

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	進路学習事業				事務事業コード	01804	
部 名	学校教育部	課 名	教育指導課	係 名	—	部課コード	110300

1. 事業概要

総合計画コード	3122				
事業年度	H 14 年度 ~ H 年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> ハード事業	
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input checked="" type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市中学生社会体験チャレンジ事業実施要綱		
めざす目的成果	職場体験活動は、体験を重視した教育の改善・充実を図る取組の一環として、大きな役割を担っている。また、学校から社会への移行のために必要な基礎的資質や能力を育む上での有効な学習の機会となっている。中学生が地域の中での様々な社会体験活動や多くの人々とのふれあいを通して、みずみずしい感性や社会性、自立心等を養い、たくましく豊かに生きる力が育まれている。				
事業内容	生徒の進路意識の高揚を図るため、地域で3日間の職場体験活動を行う社会体験チャレンジ事業を行う。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 中学生職場体験活動は、地域の事業所等に協力をいただく。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		中学生社会体験チャレンジ事業は、中学校第1学年で3日間の職場体験活動を行った。				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		718	668	548	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金	50	25		
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	668	643	548		
	b 人件費	2,565	3,664	3,664		
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)	3,283	4,332	4,212		
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.35 人	0.50 人	0.50 人	
		一般職非常勤職員等(時間)				
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		需用費 50千円 役務費 498千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 「ふれあい講演会」実施中学校	校	5 (—)	5 (—)	5 (—)	H 32 年度
	② 中学生社会体験チャレンジ事業参加中学校数	校	5 (5)	5 (—)	5 (—)	H 32 年度
成 果	① 「ふれあい講演会」参加人数	人	3,000 (—)	3,000 (—)	3,000 (—)	H 32 年度
	② 中学生社会体験チャレンジ事業協力事業所数	社	300 (318)	300 (—)	300 (—)	H 32 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定 <input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い <input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる <input type="radio"/> C 必要性が低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 中学生社会体験チャレンジは、埼玉県の「70万人体験活動」の趣旨から、実施することが望ましい。中学生の望ましい勤労観、職業観を育成することは不可欠である。
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定 <input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた <input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった <input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 生徒や保護者に夢や目標に向かって取り組むことの大切さや自分の将来の生き方や進路について考える良い機会となっている。
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 中学生が地域の中での様々な社会体験活動や多くの人々とのふれあいを通して、みずみずしい感性や社会性、自立心等を養い、たくましく豊かに生きる力を育めるよう配慮した。 参加と協働: 地域の事業所に協力を依頼し、市内中学1年生が社会体験チャレンジ事業を実施した。 経営的な視点: 「ふれあい講演会」については、県からの補助金が平成27年度をもって打ち切りとなったため、地域人材活用支援員事業等を活用して外部から指導者を招き、進路選択に係る講演をお願いするなど、各中学校の実態に応じて創意工夫した取組を実施するよう周知した。
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定 <input type="radio"/> I 見直す余地がない <input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる <input type="radio"/> III 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 中学生職場体験活動において、中学生の受け入れに協力していただける事業所を安定して確保することが難しい。また、受け入れ可能な事業所を増やすための働きかけの余地がある。

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)
	<input checked="" type="radio"/> A 拡大 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま <input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	成果の方向性 投入資源の方向性 事業費 <input checked="" type="radio"/> A 拡大 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま <input type="radio"/> C 縮小 労働費 <input checked="" type="radio"/> A 拡大 <input type="radio"/> B 現状のまま <input type="radio"/> C 縮小
	見直しの方向性 <input type="checkbox"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 29 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 29 年度)
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	「中学生社会体験事業」については、協力事業所の確保とともに、協力を要請する時期と、協力を要請する事業所が重なりがちなので、市内の全中学校で綿密に調整を行う場を設ける。また、協力事業所を現在よりも増やせるように、時間をかけて働きかけていく。